

本時までの学習

10月17日 学級活動「じぶんのよいところアンケート」「1Bともだちクイズをしよう」

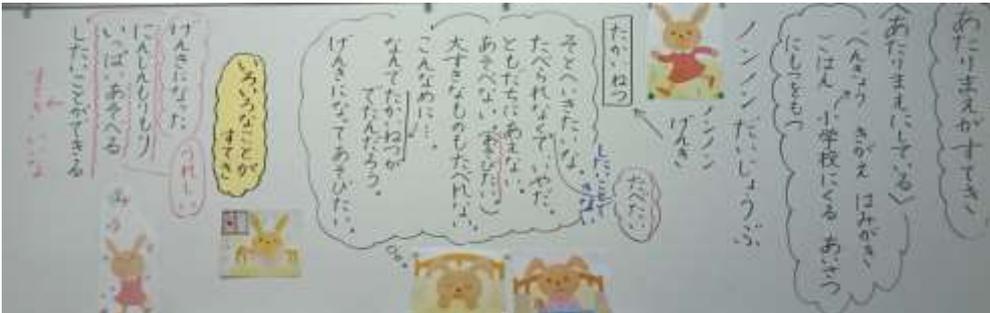
本単元に入る前に「いいところがある・ない」のアンケートを行った。30人のうち9人が「ない」と答えた。

1学期から、帰りの会の「きょうのきらきら」で、友達のよいところや自分のよいところを発表している。「きょうのきらきら」では、友達のよいところより、自分のよいところを発表する子が多く、自己肯定感が高いと考えられる子どもたちである。しかし、アンケートには、9名が「ない」と答え、「ある」と答えた子の多くは一つしか書いていない。子どもたちは自分のよいところについてあまり意識が向いていないと思われる。「1Bともだちクイズ」のやり方と、「1Bともだちクイズ」作りのために必要な友達のよいところ見つけをこれからしていくことを子どもたちに説明した。

その後、クラス全員の名前が書いてあるワークシートに、友だちのよいところを記入した。

10月24日 道徳 第1時 「ノンノンだいじょうぶ」(生命尊重)

「ノンノンだいじょうぶ」の教材では、高い熱が出て苦しんでいる時に考えていたことと、次の日元気になったノンノンがい



ろいろなことがすてきに思えたのはなぜかを話合った。子どもたちは、熱が出ていると自分のしたいことができないこと、元気であれば自分のしたいことができることに気がつき、元気であることはすてきであることを考えることができた。

今日の学習で思ったことや考えたこと

- ◇ノンノンはやっぱり苦しかったんだよ。ノンノンは、やっぱり大すきなものが消えて苦しいと思います。
- ◇わかったことは、高い熱がでて、友達とも遊べないから、ノンノンは友達と遊びたいなあと思った。大すきなにんじんも食べられないし、食欲もない。
- ◇しんどいって嫌やし、ご飯も食べられないんだ。
- ◇熱が治ったら、したいことやいっぱい遊べるということがわかりました。
- ◇かぜをひいたら、何にもいいことが一つもないけど、かぜをひかなかったら、友達といっぱい遊べるからうれしいんやなあと思ったよ。
- ◇わたしはかぜをひいたことがありません。ノンノンはこんなつらいと思っていませんでした。学校にも行けないし、食欲もないし、ノンノンは本当につらいですね。わたしもかぜをひかないように、うがいや手あらいをしっかりします。
- ◇ぼくも熱のとき、大すきなものも食べたくないし、動きたくなかったし、トイレにも行きたかったけど、動きたくなかったから我慢した。元気になったら、遊べたし、自由自在になれたからよかった。

10月24日 学級活動「1Bともだちクイズをしよう」(2回目)

10月17日に続き、2回目の友達のよいところ探しを行い、ワークシートに記入した。全員分記入できた子もいれば、なかなか書けないと悩む子もいた。書けない子は、次回までに友達のことをよく見ておこうという思いをもつことができていた。

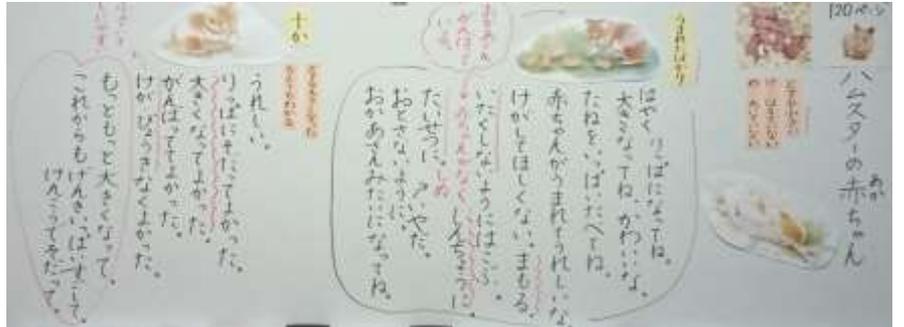
10月29日 道徳 第2時「ハムスターのあかちゃん」(生命尊重)

授業の前半では、赤ちゃんが生まれたばかりの時のおかあさんハムスターの気持ちと、十日たって赤ちゃんがとても大きくなったときのお母さんハムスターの気持ちを考えた。子どもたちからは板書のような思いが出された。

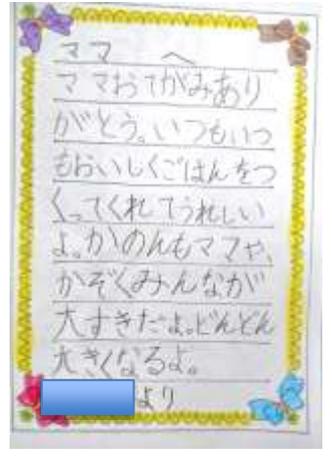
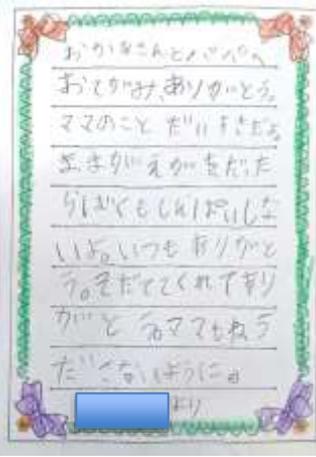
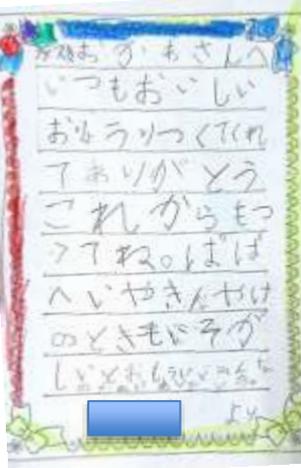
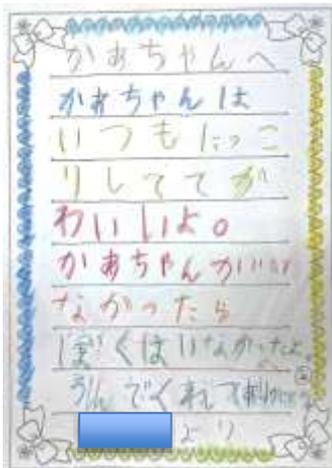
後半では、「お家の人みんなのことをどんなに思っているのかな?」とお家の人を書いてくれた手紙を一人一人に渡した。

子どもたちは、「お家の人みんなに思ってくれていたんだ」「なみだが出るくらいうれしい」「ありがとうって思った」「お返事を書きたい」などの思いをもった。

お家の人に手紙を書いた。



〇〇くんへ
 〇〇くんはママのだいじなだいじな
 なたからものです。うまれたときは
 すこしのあいだ、ほいくきには
 いってすごしたので、しんばい
 したけれど、そのあとは、いつもげん
 きいっぱい、かぞくみんなをえ
 がおにしてくれています。ママの
 子どもにうまれてきてくれてあり
 ごとう。大好きだよ。ママより



10月30日 学級活動「1Bともだちクイズをしよう」(3回目)

10月24日に続き、3回目の友達のよいところ探しを行い、ワークシートに記入した。子どもたちは、よいところ探しを楽しみ、2つ目、3つ目と、友達のよいところを記入していく子もいれば、1/4程度の友達の分しか書き込めない子もいた。しかし、子どもたちは、「1Bともだちクイズ」をするという課題意識の元で、友だちのよいところ探しを意欲的に行う姿が継続できていた。この活動は、本時において、「友達によいところを聞いてみよう」の学習活動で、互いのよいところを探して教えたいという土壌を整えることにつながると考える。

10月17日～ 生活「ひろがれえがお 大きくせん」

お家の人と自分が、朝から寝るまでどんなことをしているかを調べた。そして、お家の人自分たちのために多くのことをしてくれていることに気がついた。そこで、自分たちができることをお家の人にして、喜んでもらおうと「家族のえがおひろげよう大作戦」に取り組んだ。ご飯の準備のお手伝い、妹や弟のお世話、宿題を進んでする等、家で実践した。「ありがとう」「たすかったよ」「すごいね」などの言葉を家族からかけてもらい、嬉しい気持ちになったり、もっとやりたいなという思いをもったりすることができた。

また、どんな大作戦に取り組み、どんな言葉をかけてもらったか、どんなことを思ったかを発表した。弟に自転車の乗り方を教えたら弟が上手に乗れるようになった子に対して、「〇〇君、自転車の乗り方を教えるのが上手やったんや」というような言葉も聞かれた。家族からかけてもらった言葉や、大作戦の発表を聞いて新たに友達のよさを見つけたことが、本時の「自分のよいところはどんなところだろう」や「友達に自分のよいところを聞いてみよう」の学習活動に繋がればと考えている。

